

●近づく、秋の足音・・・

①～② 秋の七草を探してみよう

まずは民家園を横目に南へ。園路沿いはたくさんのハギが咲いています。およそ200m弱程続いています。途中で左に曲がって、こぶし野、つつじ山方面へ向かいましょう。



②のあたりは野草がたくさん生えています。背が高く鮮やかな黄色のオミナエシがお出迎え。カワラナデシコやフジバカマは足元を探してください。

この付近に多く見られるクズは、万葉集にも多く詠われ、根は葛粉や漢方の葛根湯として、つるは作業用や籠を編んだり、繊維を葛布として利用するなど、生活に密着した植物でした。繁殖力が高く、他の植物に覆いかぶさって成長を妨げるため、現代では世界の侵略的外来種ワースト100に選定されています。時代や地域性によって人間の生活との関わりが薄くなり、増えすぎて有害とみなされてしまうのは、なんだか少し気の毒に思えますね。



～秋の七草の覚え方

- お おみなえし(女郎花)
- す すすき(芒、薄)
- き ききょう(桔梗)
- な なでしこ(撫子)
- ふ ふじばかま(藤袴)
- く くず(葛)
- は はぎ(萩)

▲頭文字を取って「お好きな服は」と覚えます。他にも「ハスキーなお袋」というちょっと面白い覚え方もありますよ。



③～④ 七草を求めて、ススキの小径から雪華園へ



グミの木を過ぎると、少しクネクネ「ススキの小径」です。両側がススキで、さながら巨大迷路。

相ノ谷橋を渡り、御所沼を右手に園路を右方向へ進めば、ジェラテリアの南側が雪華園です。ここにはキキョウとタカノハススキというススキの園芸種があります。葉の縞模様を確かめてみてください。決して病気ではありませんので、ご安心を(笑)

■外来種こぼれ話

クズと同様に日本から世界に広まった世界の侵略的外来種ワースト100には、イタドリがあります。これも茎を食用、根は薬として、若葉は揉んで止血にと使われたそうです。意外なところではワカメ。海外ではほとんど食べられないようです。



⑤コスモス畑はメルヘンの世界



春に菜の花があったこの場所は、秋になるとコスモスに模様替え。ここを歩けば、老若男女問わず乙女チックな気分(笑)

コスモスの中央にスーッと頭を出しているのはパンパスグラス。シロガネヨシ、または西洋ススキと呼ばれますが、ススキ属ではありません。



⑥どこかミステリアスな彼岸花



コスモス畑から虚空蔵様寄りの細い園路を通って目洗弁天池へ。鮮やかな赤い彼岸花はこの付近にたくさん咲きます。虚空蔵様側には白い花も見られるかもしれませんよ。他にもあちこちに少しずつ咲いていますので、探してみてください。

●徐々に季節は夏から秋に変わっていきます。てくてく情報、次号もお楽しみに！